

第4回都市再生協議会（一番町大街道口景観整備専門部会） 議事録

日時：平成27年2月13日（金）13:00～15:00

場所：坂の上の雲ミュージアム 3階会議室

出席者：敬称略

- ・東京大学大学院 工学系研究科 教授（会長）／羽藤 英二
- ・愛媛大学防災情報研究センター 教授（副会長）／新階 寛恭
- ・愛媛大学防災情報研究センター 助教／片岡 由香
- ・(株)伊予鉄会館 企画調整部 課長／石山 有一
- ・(株)愛媛銀行 大街道支店 支店長／義野 慎也（代理：和家課長）
- ・(株)ファースト 代表取締役／日野 二郎
- ・森ビル都市企画(株) 開発企画1部リーダー／山崎 隆嗣
- ・松山大街道商店街振興組合 副理事長／熊本 順
- ・松山大街道商店街振興組合 副理事長／竹内 信司
- ・松山ロープウェー商店街振興組合 理事長／越智 秀二
- ・松山ロープウェー中央商店街振興組合 理事長／松浦 吉隆
- ・(株)まちづくり松山 代表取締役／加戸 慎太郎
- ・松山市障害者団体連絡協議会 会長／武智 幸男
- ・松山市高齢クラブ連合会 副会長／森 昭二
- ・国土交通省松山河川国道事務所 所長／荒瀬 美和
- ・愛媛県警察本部交通部交通規制課 課長／稲荷 聖二
- ・事務局／松山市都市デザイン課

1. 開 会

2. 挨拶

【柳原開発・建築担当部長あいさつ】

3. 委 員 紹 介

【事務局から委員を紹介】

4. 議 事

（1）一番町大街道口の景観整備計画（案）について

【事務局説明】

第三回専門部会の協議事項の確認。これまでの委員意見を受け、いちばん舞台の各仕様（舗装・ベンチ・照明・樹木）について修正案の説明、決定根拠の説明を行った。

【主な意見】

- ・ A 1 委員 森ビル前の国道歩道復旧については、民地側をいちばん舞台に合わせた整備を考えているため、平成 13 年にやられた国道歩道整備を尊重し、いちばん舞台とのメリハリもつけながら、現状復旧に合わせて、民地内の舗装デザインと親和性を高めた形で行いたい。デザインについてはまたご相談したい。
- ・ B 1 委員 森ビル工事のために、車両出入り口を設けているが、元々無いため、一時使用で認めている箇所である。また国道部分については、平成 13 年に景観整備を行い 100 年持たせる考えで行っている。前後区間の色味やデザインを合わせ、かつ、いちばん舞台とメリハリがつく形で考えてもらいたい。その際に森ビルから提案があったように、切り下げ部だけではなく、全面整備としてツギハギ部が無いように整備して頂きたい。またバリアフリーの観点からも、事務局から提案があったように、視覚障害者誘導ブロックもしっかりとしたものを設置していただきたい。
- ・ C 1 委員 横断抑止柵について何か考えがあれば聞かせてほしい。
- ・ D 1 委員 当区間は景観整備を行っており、景観に配慮した色彩のものを設置している。元々あったものを前後合わせて整備してもらえればよい。
- ・ E 1 委員 横断抑止柵については既製品でデザインされたものがある。前後の文脈のなかで、考えて頂き、機能として復旧していただくという考えがよいと思う。
- ・ F 1 委員 機能面・安全面はきちんと復旧したい。デザイン面については平成 13 年のものと同じとならない可能性が高い。建物としてはファサード前として重要なところであり、中心市街地の活性化においてもデザイン面は重要である。前後区間の親和性やいちばん舞台とのメリハリなどにも気を付けながら、民地側との親和性も含めて考えたい。
- ・ G 1 委員 横断抑止柵については、透過性がありながらも機能として役割を果たしているものがよいと思う。
- ・ H 1 委員 前回参加できなかったが、石畳の歩きやすさについて、実際にサンプルを用意し歩かれたようであるが、ハイヒールの方などの歩きやすさなどについても気にしている。
- ・ I 1 委員 非常に楽しみにしている。全般的に私は賛成である。
- ・ J 1 委員 今年の 2 月にもロープウェイ通りの車道を再整備していただくことが決まり、一番町交差点も同じ仕様で統一するというのをとても喜んでいる。今後も大街道とロープウェイ通りの行き来や親和性を高めて、協力してやっていきたい。
- ・ K 1 委員 管理の問題が気になっている。細かいことはお任せだが、事故が起きないようにした

い。滑らない・転ばないといったことを商店街は非常に気にして運営しているので、配慮願いたい。掃除の面でのやりやすさも考慮したい。個人的には照明柱はスリムなほうが見た目に合っている気がする。

ロープウェイ通りとの色彩の統一でいちばん舞台として境界がはっきりしてよい。ただし、全国各地の商店街を視察するが、境界がはっきりしていると、逆に入りづらくなることもある。そこが不安な部分なので専門家にお願いしたい。

- ・ L 1 委員 入りやすさの演出が必要ということだと思う。プログラムの工夫など考えていくことが重要である。
- ・ 事務局 照明柱のアイキャッチについては、大街道商店街アーケードのファサードデザイン案を背景とした場合、当初案ではインパクトや見た目が弱いことが分かった。トータルで検討した結果でご提案していることをご理解いただきたい。
- ・ M 1 委員 まちづくりの部分でも工夫していくことが出来る部分だと思う。今後に生かしていつてほしい。
- ・ N 1 委員 非常にいい仕上がりで出来上がってきたという印象である。森ビルの再開発案も素晴らしい。大街道の入り口も非常におしゃれな斬新なデザインである。この一番町整備が人の賑わいを集めるものになると思う。
- ・ O 1 委員 愛媛県内でも一番注目されている事業である。正面のデザインを見たが、非常に素晴らしいものになっている。
- ・ P 1 委員 大街道商店街で議論する上でも、舗装整備が商店街内に向いてもある程度一体化するように検討している。大街道全体の路面やサイン計画についても改良を検討しており、それについても今後議論していきたい。FAST ビルについても雰囲気壊さないような改変を行っていく。
- ・ Q 1 委員 横断歩道にエスコートゾーンを設置していただくとのことで、うれしく思う。また点字ブロックについても設置を見直して頂いた。石畳が滑らないようにということと、歩道と車道の境界部の角度などは車いす利用者と視覚障害者が共存するようなものにしてほしい。
- ・ R 1 委員 いよてつ会館前の歩道形状については、国道事務所の了解により、巻込み部分を少なくするなど、安全面でもこれまで以上のものが出来ていくと考えている。
照明柱のアイキャッチについては、信号との間違いが起きないように気を付けられたい。

- ・ S 1 委員 とてもよいデザインになったと思う。いちばん舞台という名前の通り、出来た後に市民の方々が来られて活用・参加していくのが重要である。参加者の皆さんについては今後も協力をお願いしたい。
- ・ T 1 委員 「いちばん舞台」は良い名前だが、市民参加ということで名称の公募も考えられる。
- ・ U 1 委員 とてもよい検討になった。経年変化した後にデザインが馴染んでいければよいと思う。
- ・ V 1 委員 今回の景観整備計画の一番大きな点は、森ビル、国道事務所、県警、商店街、UDCM 含めて、トータルで協議してここまでデザインを完成させたところである。一事業者のみでは難しくないが、複数の方々が議論して、ここまでの高質なデザインを成し得たというのが非常に重要な視点である。

二つ目は舗装を大街道の中側まで引き込んでいっているところである。人の流れがロープウェイ通りと大街道の行き来がより活性化するのではないかと。

最後に、ロープウェイ通りの照明柱は素晴らしいが、その意匠に向き合うのはなかなか大変なことである。よくここまで議論して設計者側も頑張り、非常に質の高いものにした。ロープウェイ通りとも一体感があるものとしてデザインでき、松山市の新しい顔として、全体が広場のような質の高い空間に生まれ変わる。一番町大街道口景観計画として一応の完成をみたと言える。
- ・ W 1 委員 森ビル計画案の柱角の三角形の植栽部分については、人が歩くときに動線上邪魔になるのではないかと。歩行者専用の標識裏であるが、飛び出てみえる。今後の詳細計画に生かしてほしい。点字ブロックについては、ロープウェイ通り側の横断歩道部分は斜めではなく直線にしたほうがデザイン的には煩雑にならずにシンプルになるのではないかと。
- ・ X 1 委員 点字ブロックについては機能を抑えながら、検討してもらいたい。また森ビル前の植栽については、算定上必要なのではないかと。
- ・ 事務局 総合設計制度のなかで、求められている植栽面積との調整かと思う。民地内なので、森ビルとの協議で調整したい。
- ・ Y 1 委員 緑地率を確保するのに苦労している。いちばん舞台の交差点から入るところも削っており、回すところがないということもある。ベンチのところに緑があるというのもよいかと考えている。緑自体も芝生のようなイメージで柵があるわけではない。これから協議していきたい。
- ・ Z 1 委員 緑地との境界で躓く可能性もある。
- ・ A 2 委員 再開発や総合設計制度を利用した開発などでは、緑地率確保のための植栽で非常に歩

きにくくなる事例がある。

・ B 2 委員 国道沿いの緑地の幅を少し増やせば確保できるのではないかな。

・ C 2 委員 検討できる限りのことをすればもっとよくなる。
それではこの基本計画が了承されたということでよいか。

～全会一致で了承～

(2)「アーケードのデザイン報告」について

【事務局説明】

商店街振興組合と森ビルが参加するアーケード委員会を構成し、そこで議論している。商店街振興組合の熊本委員より説明していただく。

【熊本委員説明】

【主な意見】

・ D 2 委員 単純な木を使ったルーバーではなく、少しモダンなイメージも含めた、商店街を表現したものである。投票の結果ということで理解できる。

・ E 2 委員 大街道全体として、出来るならばなるべくいい形ということで検討している。森ビルも FAST ビルも白を基調とした建物であるので、あまり違和感はないと思う。FAST ビル 1 F2F については、邪魔をしないような色や物への改変を検討している。また相談をしたい。

・ F 2 委員 あまり大人しくなってしまうと、街の賑わいにも影響するが、期待をしている。

・ G 2 委員 アーケードの検討会に参加しており、非常にいい形になっている。デザイナーのデザインもとてもよく、道後を始めとした松山の伝統を感じながら、新規性もあるところがよい。検討していく中で木のフレームがよく、街のなかで際立ちつつ親和性もある。木のルーバーが鉄フレームの中で合わさり、とても良いデザインになっている。我々のビルもパース画像が最終ではないので注意されたい。

・ H 2 委員 ロープウェイ通り側と大街道側は違う表情ではあるが、共通の要素もありつつ、非常によい選択になったと思う。

アーケードのデザインについては、この形で進めるということでよいか。

～全会一致で了承～

(3)「一番町交差点周辺のデザイン方針（案）」について

【事務局説明】

今後の交差点全体の計画にむけて、イメージ写真や景観整備方法の事例を紹介し、今後のスケジュールについて説明した。

【主な意見】

- ・ I 2 委員 伊予鉄道の土地で営業しているので、建物自体を検討する立場にないことをご理解頂きたい。運営の中での話では、建物形状が細長いいびつな形であり、ホールが取りにくい。建替えの場合は大きいホールを要求したい。セットバックとなると使い勝手が悪くなる可能性がある。駐輪場も確保となると、さらに手狭になる。
- ・ J 2 委員 交差点が活気を持つためには1階部分に様々なプログラムが入っているということが重要。歩道空間だけが広がればいいという話ではない。別の方策も含めて柔軟に対応できればと思う。またこのような場で議論したい。
- ・ K 2 委員 個人的には、建物デザインの調和については、必要と考えている。セットバックなのか別のやり方なのかは難しいが、将来何年か後には必要になってくると思う。
- ・ L 2 委員 愛媛銀行は緑の施策を積極的にとりくまれている。このデザイン方針の中では、緑を街なかに広げていくという方針も示されているが、限られた条件のなかで考えていくことを中長期的に一緒に考えていきたい。
- ・ M 2 委員 一番町の機能として、ターミナル機能がある。タクシーをどうするかが問題であり、実質は国道も一車線になっている。自転車についても、どこかにある程度確保し、そこへ行けば停められるという場所が必要。自動車も少し裏にお城下パーキングを設けたが、満杯の状況であり、駐車場もこの周辺に確保したい。
- ・ N 2 委員 景観のプランであるが、交通機能を集めてこないと活性化に結びつかない。景観と交通をこの空間にいかに納めていくかという検討が今後必要である。引き続き、市が中心になるかと思うが、是非積極的に考えていきたい。デザインだけではなく、機能を確保したデザインへと進化していくことが必要である。
- ・ O 2 委員 路面整備について、公共空間と一体に行うというのは全国的にもなかなか事例がなく、とても良い取組だと感じている。重要な玄関口なので、今回だけで終わらず継続性を持って、ぜひ一体で整備出来ればと思う。この場所で目に見える緑を整備するというのは、取組みがアピールしやすく、とても賛同できる考え方である。モミジについては種類としてはよいが、落ち葉の問題などメンテナンス段階については具体的にお話をしていきたい。

- ・ P 2 委員 エリアマネジメントによって管理や広告などをすれば、付加価値を高めていける。駐輪場の議論なども含めて、ここを街として一体的に付加価値を上げていくようなトータルでの議論を考えていくべき。景観の場なので仕組みの話までは踏み込めなかったが、工事が始まれば、出来た後に向けての動きをスタートさせるべき。市がリーダーシップをとって進めていくことが大事である。
- ・ Q 2 委員 いちばん舞台から連続する商店街としては、法律上の制約がどのように整理されたかはっきりしないが、いちばん舞台の利用が出来るように考えて頂きたい。
- ・ 事務局 今回はモデル事業であるが、様々な拠点をつなぐ大街道銀天街をどう考えるかを皆さんに今後相談していききたい。ロープウェイ街も整備して 10 年たち、ソフト面で様々な相談を受けている。是非一緒になってやっていきたい。
- ・ R 2 委員 商店街としては天候に左右されるが、石畳部分でイベントを行えるのはよいと思う。落ち葉が落ちた後、さみしくならないかと思う。
- ・ S 2 委員 イベントは舞台装置が出来るので、色々な形で仕掛けることが出来る。冬の樹木についてはライトアップなど様々な彩り方があるので、考えていく必要がある。
- ・ T 2 委員 いちばん舞台が出来て楽しみにしている。森ビルと同様に、いよてつ会館の近くにダイワハウスのホテルが出来る。観光客も多く集まる。観光客の人の流れも大街道側に流れる仕掛けを考えてもよい。観光客の駐車場を町全体で考えるべきである。観光客がいちばん舞台に見に行ってみるか誘導できる仕掛けをしたい。バスが止まれるところを確保すべき。
- ・ 事務局 ロープウェイ通りとのつながりなど、ソフト的な施策は関係部署でも考えている。引き続き考えていきたい。
- ・ U 2 委員 観光客全体の動線をデザインするというのは非常によい提案だと思う。バスから観光客を降ろして、どう歩かせるかを考えたときに、観光拠点を結びがちである。やはり周辺を通ってもらい松山を知ってもらう、また通ってもらうのでそこで仕掛けもできる。今後考えていきたい。
- ・ V 2 委員 ロープウェイ通りは落ち葉と雑草の問題がある。舗装表面から出てきてしまい皆で掃除している。とても大変である。またこれからは、おもてなしの街づくりが大事だと考えている。座れる場所やマップ作りなど、ロープウェイ通りをより使ってもらうような仕掛けをしたい。また市関係部署に相談したい。
- ・ W 2 委員 ロープウェイ通りも整備から時間がたち、維持管理はとても重要な問題である。森ビ

ルが完成し、どのようなマップを置いてもらうかなども、まちづくりに直結した内容である。大街道とロープウェイ通り側も一体的に議論してもらおうと、また新しい街の形が現れ、面白いと思う。工事段階では是非準備されたい。オープン時にはそういったものが皆で共有できるようにしたい。

- ・ X 2 委員
大街道・銀天街・まつちかタウンは空き店舗率は 15%であり、三月末には 20%を超える可能性がある。一方で道後やロープウェイ通りはほぼ 0%である。これを考えると、お金をかけて整備したところから空き店舗が減っていつている。また歴史をたどると空き店舗が多かったところからお金が落ちている。都市再生ビジョン図では、拠点空間を順番に整備されているが、最終的に松山をどうしていくのか、どういった街にしたいのかを考えるべき。是非最後までやり切ってほしい。
また緑については、多少の工夫でやれることがある。まちづくり松山としては、エコをキーワードに低炭素な商店街を目指す。
いちばん舞台で人を集めるイベントはできないが、ここから発信するイベントは出来る。まちづくり松山はこれまでもエリアマネジメントをしているが、愛媛銀行の上のストリートビジョンの活用もやり方があり、ソフトの面では色々やれることがあると考えている。
全員で協力するということとストーリー性を持つてやるということが大事である。
- ・ Y 2 委員
この場所だけ考えるのではなく、その特性を生かして戦略をもって全体で考えていくことが重要。国道に面しているので制約もあるが、全体で考えていくことが重要。またビジョンが重要。こういった場が出来たので、工事段階、完成後も皆で協力して引き続きやっていくことが大事である。
- ・ 事務局
今回は民間・行政・国が協力したモデルである。ハード・ソフトも含めて民間と官がいかに協力してやれるかが今後重要と考えている。拠点空間として挙げた大街道・銀天街・L 字・市駅前アウトプットイメージは皆さんで共有できていると思うが、そこまでに至るプロセスが難しい。アーバンデザインセンターもできたので、今後使ってもらいながら、是非皆さんでプロセスを共有していくことが大事だと考えている。
- ・ Z 2 委員
まちなか居住の動きはコンパクトシティの方針が出されて以降、まちなか居住のマンションも増えてきている。足元客を拾える余地はあるかなと思う。そこに緑が入ればよりポテンシャルが高まってくる。メインのストリートヘテコ入れをしていくことで、ロープウェイ通りや道後に起きたようないい変化を街なかに起こしていけるのではないかな。
- ・ A 3 委員
2〜3 日に一回は道後温泉に行っている。交通整理・景観整備後は、人の溜まり方が整備前と異なり人が多い。土日はイベントが開催されていると錯覚するほど多い。一番町景観整備も楽しみにしている。

- ・ B 3 委員 やはり機能だけではなく空間が大事。空間が本当にいいものになると人が出てきて、店を利用する。この循環が大切である。

- ・ C 3 委員 工事中は交通保安員を配置して安全にしてもらえればと思う。

- ・ D 3 委員 いちばん舞台は自転車を徒歩に転換する機能が重要であるとあるが、先日の自転車シンポジウムでも紹介したが、松山の自転車分担率・自転車保有台数は全国有数である。原付車保有台数も全国上位である。問題は通常の通過交通と滞留する交通をどのようにさばくのかということである。様々な専門部会に出席しているが、点と線の施策だが、点のみの整備になっている。線を幅の広い帯ととらえ、大街道・銀天街の外側の道を含めて、人・自転車をどのように動かすのかを考える必要がある。

緑・公園が無いというのは同感である。八坂公園以外、大きな公園はない。

歩道機能を考えたときに、どこまで植樹帯が必要なのか、改めて考えたい。街のなかの公園づくりを市全体で考えて頂けたらと思う。

一番町交差点周辺とあるが、周辺と考えるのであれば、西側は裁判所前まで、東側は一番町二丁目の交差点までの範囲で考えるべきである。

セットバック部分のオープンカフェ実施については、現状条例上出来ないという市の回答であった。他県・他国を見ると、歩道とオープンカフェのスペースを区画し、動線処理をしている。溜まり空間をきちんと保持している。今後そのような配慮をしてほしい。

いいものになるように是非知恵を出していきたい。

- ・ E 3 委員 景観のことだけを考えると、その場所の人の動きや交通のモードなどをついつい忘れがちになってしまう。改めて背後にある法律や周辺の空間との関係で計画を立てていくことの重要性の指摘かと思う。メインの通りの一本外を含めての検討や緑を利用した交通の区分など、様々なデザインコードを考えていくことが大事である。

- ・ 事務局 オープンカフェについては、全国的には導入が進み、法律的にも緩和されている状況が見受けられる。社会実験なども通して、チャレンジしていきたい。先ほどのご指摘も含めて、相談しながら進めたい。

以前の自転車の社会実験においては、様々な意見もあり、我々も解決策が模索している。限られた空間の中で、民地セットバックがあれば、車道空間もより使えるのかもしれない。今後も一番町交差点が注目される場所でもあり、皆さんと考えていきたい。

- ・ F 3 委員 法律の中でスペースの使い方を大胆に見直し、使い方の余地を生み出していくことが大事かと思う。

- ・ G 3 委員 県外からの訪問客を案内する際に、道後温泉周辺の景観整備とロープウェイ通りを紹介する。一番町で下りて、反対側まで歩いて頂く。その際にロープウェイ通りに感銘を受けられることが多い。またロープウェイ通りに出店する大手コンビニも景観に配

慮したデザインになっている。ロープウェイ通りの取組がしっかりと根付いていると感じている。

一番町交差点については、限られた幅を電車・車・歩行者・自転車・タクシー・バスで利用している。シェア・ザ・ロードの考え方でやるしかない。そこに何かを入れようとする、どこかが不便になるということを認識しておく必要がある。諸外国ではLRTをベースにして、街の中から車から締め出すことをしているが、荷捌きの搬入も大変かと思う。時間でシェアする、空間でシェアするなどやっていくしかない。自転車の社会実験でも、車道が怖いということもあり、2割くらいしか車道を利用して頂けなかった。二番町三番町を含めて自転車空間の整備をどうしていくかを松山市と検討していきたい。

環状道路の内側、11号33号56号196号において、唯一無電柱化していないのは勝山通りだけである。緑、自転車走行空間、無電柱化等色々な縛りがあるなかで、検討する場をセットして考えていきたい。JR松山駅周辺含めて無電柱化を進めていきたい。また四国地方整備局・四国経済連合会・四国運輸局で取り組んでいる、四国八十八景プロジェクトがある。来年度場所を選定していきたい。景観がいいところを見える場所を探していこうというプロジェクトである。永木橋からみてもいっぱい看板がある。無くしていきたい。松山市ならできる。道後温泉本館前の整備などを参考になるのでは。土木学会四国支部で局長が紹介したが、街なかでの松山城のよい視点場はどこか。私は南堀端から県庁のバックに見える視点場もよいと思う。そういったことも含めて景観を考えながら都市デザインを考えていきたい。管理している国道も対応していきたい。

- ・ H 3 委員
街の骨格になる道路である国道からどうアプローチするか。永木橋から勝山交差点の部分の景観整備が残っており、無電柱化する際に、街のシンボルになる道路や街のイメージを新しくよいものでできるチャンスである。
そういう機運が高まっていることを念頭において、この一番町交差点のマネジメントを考えていくことが大事である。
- ・ I 3 委員
空き店舗率の話が気になっている。ロープウェイ通りや道後温泉本館周辺は歩行者の空間がしっかり取られていることが重要である。一番町交差点も歩行者が楽しく歩ける仕掛けや面白い空間にしていき、どう結んでいくかを考えていかなければいけない。自転車マナーについてもきれいな空間が広がっていくことで、マナー向上を期待したい。
- ・ J 3 委員
街なかの活性化についてはアーバンデザインセンターやまちなか広場が今年度設置されて、非常に大きな効果を上げている。まだ点の効果なので面に広げていくことが重要である。
- ・ K 3 委員
今回よい検討が出来たと思うので、ピンポイントな取組に終わらせずに、街なかデザ

インのモデルにしてほしい。官主導だけではなく民主導のプロジェクトなどにも行き渡ってほしい。

・L3 委員

全般にデザインについては事務局、設計を担当された方も含めて相当粘り強く検討し、委員の先生方や地元の方々の意見も含めて、非常にいいものが出来たと思う。ロープウェイ通りと大街道を繋いでいくという今までになかったコンセプトが生まれ、さらにお互いが行き来できるプログラムの設計などに広げていくことが重要。

全体の街づくりについてはまだまだ課題があることが分かった。全体のエリアマネジメントの仕組みをどうやって構築していくのが重要。今回相当数のヒントが出されたように思う。事務局のほうで引き続き、意見をくみ取りながら、協議の場が継続されればよい。

デザイン方針案については了承されたということで引き続き検討して頂ければと思う。

・事務局

ありがとうございました。昨年度の意見交換会を含めた、二年間にわたる検討の結果である。やはりキーワードは連携だと考えている。連携による設計、連携による実施、連携によるマネジメントだと思う。今回を一つのモデルとして引き続き検討していきたい。

5. 閉会